

同窓會報

発行 千葉県立千葉北高等学校幹事会
編集 千葉県立千葉北高等学校同窓會報発行部

同窓會も三期生が卒業し、三年目の活動へと入っていますがこの目で活動へと入っています。三年目を記念して第一号を発行することにしました。

このように、内外の状況に同窓會は対応しているわけですが、これがすべてではありません。同窓會のできることは無限にもっともっとあると思います。北高の学校創造に参画した仲間が会員となつた今、未来の北高と我々同窓生相互のために、その絆をより強く、確かなものにしていかなければなりません。私達役員も、その「パイプ」となって努力していきます。どうぞ、今後あまりむずかしく考えずにあなたの意見・批判をお寄せ下さい。

北高同窓生の絆を 強固に!

会長 土屋 誠

今春、三期生が学校を巣立って同窓會もそれなりの団体になったと思います。今までは、一期生が主に活動をすすめてきたわけですが、これからはもっと広く協力をいただけることでしょう。

新趣向

副会長 山中 宏

この二年間、北高内外でいろいろなことがありました。内部では在校生の活動がめざましく、多くの部や委員会が躍進しているように伝えられています。同窓會としては、これらの活動を授助しようとして、できるだけ早く「同窓會館」として宿泊施設を設立しようとして、準備をすすめています。

また、外部・同窓生からは、「ぜひ名簿を」という声が高まり、同窓會としては、母校の創立五周

旧副会長

矢島 明子

皆様、お元気ですか。紙上とは言え久々に皆様にお会いできると嬉しく思っています。

高校生活とは、だれにとっても青春の一ページではないでしょうか。人それぞれ、楽しい思い出、辛い思い出、皆様の胸の中にはあなたが主人公の物語がねむっているのでしょうか。とは言っても今春、卒業なさった三期生の皆様は新しい世界に目を輝かせている時期で、五ヶ月前までの高校生活を思い出と語るには、早過ぎるかも知れない。ともかく「通例」に甘んじたくはない。何も無茶をやるうというのではなく、他に類のない新しく面白い趣向の活動はできないものだろうか、と思う。何かがあるごとに会員が集まって、北高の為にもなり、その参加者も有意義で楽しい、そのような同窓會活動を私なりに夢見ている。

ところで、高校時代はろくでもないことをやっていた、今ではたまに「俺、同窓會の副会長だったっけな」と、思い出す程情性的な私に、「原稿をお願いします」と言われて、いい気になって、こんなことを書く資格がある訳ないの

知れませんが。

何もなかったと思いがちな、我が高校生活も気が付くと、生徒會のお仕事をさせて頂き、三年間通して出来た事が、いつの間にか、私の思い出であり、辛い時には心の支えとなって参りました。現在も、当時の友人はよき相談相手であり、最高に気の休まる仲間達です。

今何かに苦しみ悩んでいるとしたら、仲間と話し合ってみてはいかがでしょう。か。

北高の校舎、一期生の生活から想像も及びませんが尋ねてみてはいかがでしょうか。時にはよい知らせも恩師に運べたら、幸いです。

ですが、毎年毎年堅く若しい文章ばかり載っている、読む方も書く方も疲れて来て、しまいは読む人がいなくなってしまうのは、と余計な心配をしてみたい、少しは私もヘタな冗談でも書いて見たくなるものである。

さて、乱れた文章はこれも「新しい趣向」として読者の皆様に我慢していただいて、同窓會員であるあなたも、同窓會に対して、何か「新しい提案」をしてみませんか？

昭和54年度歳入歳出決算書(54・8~55・3)

千葉県立千葉北高等学校同窓会

歳入総額 5,040,977円
 歳出総額 1,945,800円
 差引残額 4,846,397円
 (55年度へ繰越)

(支出の部)

(収入の部)

科目	予算額	収入済額	比較増減額	付記
会費	1,410,000	1,407,400	2,600	1,175名×100円×12ヶ月
繰越金	3,584,046	3,584,046	0	S53年度繰越金
雑収入	40,641	49,531	8,890	預金利子
計	5,034,687	5,040,977	6,290	

科目	予算額	支出済額	比較増減額	付記
事務費	64,000	64,000	0	連絡通信費 役員会費等
事業費	155,000	114,090	40,910	卒業記念品代 会報、総会費等
慶弔費	60,000	5,000	55,000	1件
雑費	5,000	0	5,000	
予備費	475,068.7	11,490	473,919.7	事務費へ流用
計	503,468.7	194,580	484,010.7	

上記の通り報告します。

昭和55年8月17日

上記監査の結果、適正であることを認めます。

昭和55年8月17日

千葉県立千葉北高等学校同窓会

会長 山中 宏

会計監査 妹尾 篤人

同 花島 智子

昭和55年度歳入歳出予算書(案)

千葉県立千葉北高等学校同窓会

(支出の部)

歳入総額 6,403,397円
 歳出総額 6,403,397円
 差引残額 0円

(収入の部)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	付記
会費	1,512,000	1,410,000	102,000	1,260名×100円×12ヶ月
繰越金	4,846,397	3,584,026	1,262,351	S54年度繰越金
雑収入	45,000	40,641	4,359	預金利子
計	6,403,397	5,034,687	1,368,710	

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	付記
事務費	94,000	64,000	30,000	印刷・連絡 通信・役員会
事業費	344,000	155,000	189,000	会報・ 総会費等
慶弔費	60,000	60,000	0	
同窓会館 設立準備費	5,800,000	0	5,800,000	積立金でなく 単なる準備費
雑費	5,000	5,000	0	
予備費	100,397	475,068.7	△ 465,029	
計	6,403,397	5,034,687	1,368,710	

収支残額 なし

上記の通り上程致します。

昭和55年8月17日

千葉県立千葉北高等学校同窓会

会長 山中 宏

第二次役員決定

(55・8・17総会承認)

会長

土屋 誠 (一期生)

副会長

山中 宏 (二期生)

妹尾篤人 (一期生)

馬場亮一 (一期生)

書記

義川美恵 (二期生)

会計

奥山敬子 (一期生)

高崎重人 (二期生)

会計監査

柏崎律子 (一期生)

日根浩二 (三期生)

同窓会名簿について

このたび、母校の創立五周年を記念して同窓会名簿第一号を発行することになりました。

現在、住所確認のハガキの回収

が遅れておりますので、九月の中旬ぐらいの発行となる予定です。

そのため購入希望者の方には、発送にてお送りしますのであらかじめご了承下さい。なお担当役員は、妹尾(副会長)と義川(書記)となっております。

同窓会館について

第二回総会において承認された同窓会館設立につきまして、現在役員の中で会館設立に関するおおまかな設計、又それにもなう費用の概算などを検討中です。

準備委員会は随時開催の予定で、なお担当役員は土屋(会長)と馬場(書記)です。

昭和54年度 事業報告

(54・4/55・3)

54・4 転勤職員に対し記念品を贈呈。

- 6 第二回総会準備のため、役員会及び幹事会を開く。
- 7 (総会案内状発送は二期卒業生に限る。)

8 第二回総会開催(19日)

「母校は今」

第四面に掲載

(午前中幹事会・総会后、各期卒業クラスで集会)

同窓会館設立案承認
55年度より準備委員会を設置。

9 22日、旧職員の広川茂和先生告別式、役員参列。

11 卒業記念品(証書筒)のネーミングについて学校側と交渉。

12 「祝 第三回(昭和55年三月)卒業 千葉県立北葉北高等学校同窓会」に決定。

55・2 役員会

。来年度の事業計画
役員改選について

3 1日 会報No2発行
8日 第3回入会式

。記念品贈呈
幹事会
。会名簿発行決定
。役員案承認

昭和55年度

事業計画

55・4 役員会・幹事会
(以後毎月一回)

5 同窓会名簿発刊準備
(ハガキ発送・集計・編集)

7 役員会・幹事会
(総会準備)

8 第三回総会

。予算・決算・役員改選
などについて・会報No
3発行・名簿発行

56・3 第四回入会式及び記念品
贈呈・幹事会
会報No4発行

編集後記

年に一回「同窓生」が集まる総会。旧友との出会いに予算や決算の議事は「おじゃま虫」なのかな。役員になって「無関心な生徒会」が学校を卒業したただけのような同窓会を見た一人の新役員でした。

(日根)

放送委員会

全国大会へ!!

去る六月二十七日、千葉県教育会館において、第二十七回全国高校放送コンテスト千葉大会が、行われ、本校の放送委員会は朗読部門と番組製作部門のラジオ番組課題と自由が、県代表に選ばれた。朗読部門では鶴沢とき代さんの「或る女」。番組製作部門の課題では「高校生活と校則」。自由では「駐論禁止」が、本校から県代

ついに発足

柔道同好会

先日の評議会で、正式に同好会として、認められた柔道同好会の発足人は、現生徒会副会長の松川君である。格技館の完成とともに彼の呼びかけで集まってきた、約十名の人々によって作られたこの同好会の顧問は、ラグビー部と兼任の渡辺先生で柔道の腕前は、三段とのこと。現在会員は、女子二名を含め二十名近くいるが同好会のままでは、大会などに出られないそうであるが、部に昇格するの

表として、全国大会に参加するわけだが、これは個人参加の人は練習を重ねたのは、もちろんであるが、ことに番組製作に対しては委員のチームワークが、このような結果をもたらしたようだ。録音構成のためインタビュ中心で、テープの編集のため徹夜したり、おそくまで学校に残ったそうである。今回の栄冠も、そのような努力の結果であろう。

男子バトミントン

インターハイへ

この夏、香川県で行われる。インターハイに、バトミントンの鈴木健一君が出場することになった。関東大会予戦では、若松に負けたバトミントンだが、インターハイ予戦では、部長の鈴木君が、若松を破り、みごとに優勝した。そして、インターハイ選考会をパスし、インターハイへの出場が決まった。鈴木君は部活の他、コーチについて練習したそうである。得意技はスマッシュ、これはバトミントンをやる者として当然身につけねばならない決め手となるものだが、とても難かしいそうである。やっ

と、つかんだ出場権だ。是非とも頑張ってもらいたい。

関東大会

今年行なわれた関東大会に、本校のソフト部(男子)、ラグビー部、バトミントン(男子)が出場した。これらの部は、毎日苦しい練習を続け、実力を年々増してきた部である。

男子ソフト部は、本校において強い部のひとつであり、すでに関東大会へは、数回出場している。男子戦の戦績は次のとおりである。四街道戦

八街戦(六回コールド) 1 1 2

0 1 2

敬愛戦(決勝)

0 1 1

なお関東大会では、群馬の新島高校に4-1で負けたものの、これからの活躍が、期待される。

ラグビー部は、今年の新人戦で準優勝し、自信と実力のある部になってきた。県大会(予戦)の戦績は、

専大松戸戦

0 1 7

検見川戦

0 1 4

市立銚子戦

6 1 22

千葉南戦(準決勝)

16 1 0

予戦で、ベスト4に残り関東大会へ出場。大会では、交流試合のみ行われ東京の成城に10-24で勝った。

男子バトミントン部は、県大会において、宿敵の若松に勝つことができずシングルス、ダブルスとも、準優勝。関東大会では、一回戦を茨城の科学技術学園に0-2で勝ったが、2回戦は栃木の今市高校(優勝)に2-1で負けてしまったが、これからのバトミントン部の活躍が期待される。

「よみうり写真大賞」

佳作に入賞

写真部の福本猛君が、読売新聞社主催の第二回よみうり写真大賞において、みごと佳作に入賞した。これは、約四千点に上る応募作品のうち、入賞者三十三名(最優秀一名、優秀二名、入選十名、佳作二十名)の一人に入ったもので六月の読売新聞紙上で、発表されたほか、八、九月中に掲載される予定である。これからの、活躍に期待したい。